



ハツユキカズラ [初雪蔓]

／ニシキテイカ

常緑／つる類／木本植物／園芸品種



科名 キョウチクトウ科 (APGⅢ)

特記 生長：やや速い
草本扱い (保証の観点より)

新芽には紅を帯びた斑が混ざり美しい。カラーリーフとして魅力あるつる植物。寄せ植え、刈り込みなど利用範囲が広いテイカカズラの園芸品種。「ニシキテイカ」は、葉に淡い黄色の斑が入り、2色を織りなす。よく似た名前の「ニシキカズラ」はサネカズラの斑入り品種。



Memo

斑入り葉は、葉緑素の一部が失われ、葉緑素以外の色素により、白、黄、桃、赤色などに見える。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
	花期													
	果実													
	紅葉	(常緑だが秋に一部の葉が紅葉する)												
	施肥													
	剪定	(適宜剪定する) ★★												

★: 花芽分化の時期 (分化後に剪定すると花付が少なくなる)

好みの環境					
日当たり	陽	○	○	○	陰
土壌	乾		○		湿
寒さ	強	○			弱
暑さ	強	○			弱
潮風	強	○			弱

観賞ポイント	姿						
	花						
	葉						
	紅葉						
	黄葉						
	実						

ポイント

頻繁に刈り込むと美しい新芽は増えるが花はつきにくい。咲いても斑入り葉に紛れて目立たない。斑入りのない緑の葉が出たら切り戻し斑入り葉が増えるようにするとよい。

剪定

テイカカズラに比べ生長が穏やかで、管理しやすい。繁茂しすぎたり形が崩れたら、強く切り戻し仕立て直すとよい。萌芽力があり、再び斑入りの美しい新芽が楽しめる。

病虫害

病虫害は少ない。